

## 空き家物件紹介

友枝  
エリア



[売買] 応相談  
[建物] 延べ床面積/122.3㎡  
[築] 56年 空き家12年/要補修

友枝  
エリア



[売買] 応相談  
[建物] 1階/80.32㎡ 2階/14.49㎡  
[築] 40年 空き家3年/要補修

西吉富  
エリア



[売買] 応相談 [賃貸] 40,000円/月  
[建物] 1階/119.17㎡ 2階/21.66㎡  
[築] 50年 空き家3年/要補修

友枝  
エリア



[売買] 応相談 [賃貸] 応相談  
[建物] 1階/93.65㎡ 2階/27.36㎡  
[築] 38年 空き家6年/要補修

南吉富  
エリア



[売買] 応相談  
[建物] 1階/72.72㎡ 2階/14.81㎡  
[築] 100年 空き家11年/要補修  
※昭和54年リフォーム

## 上毛町空き家バンク制度をご存知ですか？

「空き家バンク」は、空き家の賃貸や売却を希望する方からの情報を、空き家の利用を希望する方に紹介する制度です。

空き家の有効活用を通して、交流人口の拡大と移住・定住を促進し、地域の活性化を図ることを目的としています。



\* 上毛町に住民登録がなくても登録できます。  
上毛町に空き家を所有している方なら空き家バンクに登録可能です。

\* 空き家バンクへの登録は無料です。  
実際に賃貸・売買の契約を結ぶ際に宅建業者の仲介を依頼する場合は、手数料などがかります。

\* 空き家の修理や清掃費用の一部を補助します。  
空き家バンクにご登録いただいた方が、物件の修繕や片付け・清掃などを行う場合に、その費用の一部を補助する制度があります。補助金額は、対象経費の1/2で上限50万円です。

マイホームを  
新築・建替・購入  
したら



## 移住・定住支援制度のご紹介 定住促進奨励金

町への移住・定住を促進し、人口の増加と町の活性化を図るため、住宅を新築、建替え、または購入した方に奨励金を交付します。

### 対象者

町の住民基本台帳に登録され、平成31年4月1日以降に居住するための住宅を新築、建替え、または購入した方。

※空き家など中古住宅を購入した場合も該当します。  
※コモンパーク上毛彩葉分譲宅地に新築した場合は該当しません。  
※町税などに滞納がある場合や過去にこの奨励金の交付を受けたことがある方は対象となりません。

### 奨励金

住宅 / 居住用の部分(店舗兼用住宅の場合は店舗部分を除きます)  
土地 / 対象住宅が建築された土地で330㎡まで(対象者または同居される方名義の土地に限ります)

奨励金の額 / 固定資産税相当額(新築軽減がなされている場合は軽減後の額)  
※共有名義の場合は居住(同居)している方名義の分が該当します。

### 交付期間

固定資産税が初めて課税される年度から最長3年間交付します。  
※固定資産税が課税された後に申請手続きができます。

\* 詳細については下記までお問い合わせください。

● 問い合わせ先 企画情報課 企画情報係 TEL 72-3112  
ホームページ <http://koge-bukken.org/>

移住・定住者  
インタビュー  
interview

# 人生第二のふるさととは かつて先祖が暮らした 上毛町へ

海外生活40年  
父が育った上毛町へ

茂呂さんは大学卒業後、フリーターを経て1972年渡米。世界一周をしながら色々な経験をし、日本に帰国後は体育教師になる予定でしたが米国カリフォルニア州ロサンゼルスで指圧とマッサージ師として働くことに。また、全日制日本人学校にて小・中学校の保健体育非常勤教師やボランティアとして命の電話相談、日系人への健康相談など約20年間もされていたそうです。しかし、在米中に妻を亡くした後、漠然と大分県中津市に移住をし農業民泊をやってみたいなどと考えていたそうです。

2014年永住帰国し、2年間は東京に在住。その後、中津市に移住し中津市と上毛町の空き家バンクに登録。主に耶馬溪地区に物件を探していた頃、兄夫婦が先祖のお墓がある上毛町に墓参りに帰ってきた際に定住先を探していることを話すと「おれが住むのだったら上毛町だな」と言われたのがきっかけで上毛町に決めたそうです。



茂呂敏さん(東上)



日本体育大学体育学部で培った健脚を活かし、海外でもマラソン大会などに参加。



日本人学校では保健体育の非常勤教師として活躍されました。

## 町の魅力をお世話になった海外の方へ

上毛町空き家バンクの紹介で昨年移住。現在の家に決めた理由は土佐井にはかつて父の実家があり、小学校時代は何度も訪れていたということ。町の情報などを実際に足を運んで調べた結果「こころな」と思ったそうです。

移住後の感想は「近隣の皆様には大変良くしていただいております。地域の行事にも積極的に参加をしておりますが慣れない草刈機での草刈などでは迷惑をかけております。家から見える山並がきれいで天候によって変わる山々の様相を楽しんでいます。」と話してくれました。

今後はお世話になった外国の方に恩返ししたいという気持ちもあり、語学を活かして外人向けのゲストハウスを開設し、情報の提供を行いたいとのこと。すでに近隣

の皆様の承諾をもらって消防署の許可を取得し井戸の水質検査にも合格。あとは保健所の検査を受け許可証を受ければ開業したいそうです。また、上毛町で子どもたちの才能を引き出せるような陸上競技倶楽部やスポーツクラブの設立も考えているということです。



(レポーター 地域おこし協力隊 桑原政行)

現在は豊前上毛シルバー人材センターで週4日勤務している傍ら、ボランティアで日本企業に勤める東南アジア系の方に月1〜3回日本語を教えながら新たな目的に向かってチャレンジしたいと話していました。